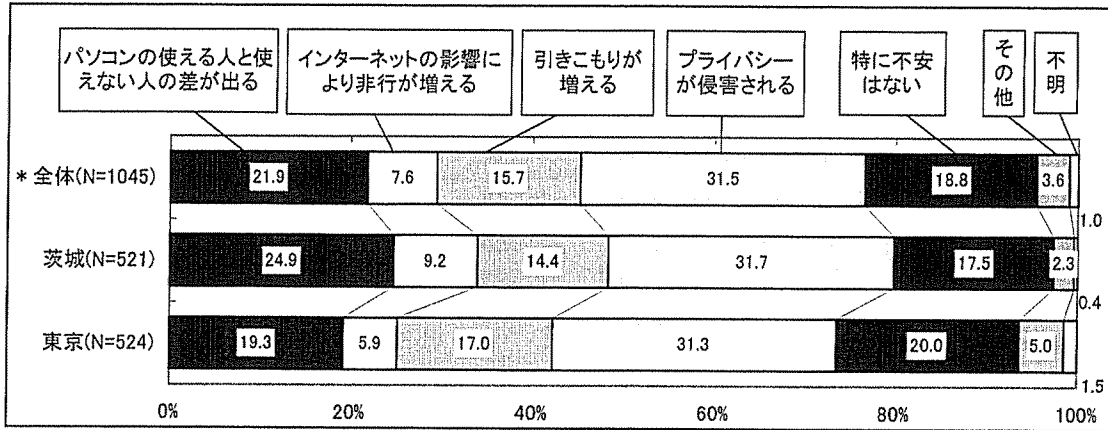


⑤インターネットに対する不安

(図表 32) インターネットに対する不安



高校生が、インターネットについて不安に思っていることは、「プライバシーが侵害される」や「パソコンの使える人と使えない人の差が出る」であった。しかし、「インターネットの影響により非行が増える」という不安を強く持っている高校生は相対的に少なく、大人が心配している程度には、当の高校生は感じていないことが分かった。

(図表 33) インターネットに対する不安別テレビ視聴の方法

	ひとりで	家族と	友達と	見ない	その他	不明	総計
格差	56.8%	36.2%	0.4%	3.9%	2.6%	0.0%	100.0%
非行	38.0%	48.1%	2.5%	11.4%	0.0%	0.0%	100.0%
引きこもり	51.2%	38.4%	1.2%	7.9%	1.2%	0.0%	100.0%
プライバシー	50.8%	40.7%	2.4%	3.6%	2.4%	0.0%	100.0%
ない	56.6%	30.6%	1.5%	8.7%	2.6%	0.0%	100.0%
その他	28.9%	52.6%	2.6%	7.9%	5.3%	2.6%	100.0%
不明	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
総計	51.4%	38.6%	1.7%	6.0%	2.2%	0.1%	100.0%

「インターネットの影響により非行が増える」と答えた高校生では、テレビをひとりで見ている高校生よりも家族と見ている高校生の方が 10 ポイント高く、他の選択肢を選んだ高校生とは逆の関係になっている。つまり、家族とのコミュニケーションが濃厚な高校生の方が非行に対する関心も高いといえる。

(図表 34) インターネットに対する不安別携帯電話入手後の家族との会話

	増加	不変	減少	不保持	不明	総計
格差	5.2%	84.7%	3.1%	7.0%	0.0%	100.0%
非行	6.3%	81.0%	8.9%	2.5%	1.3%	100.0%
引きこもり	5.5%	84.8%	4.9%	4.9%	0.0%	100.0%
プライバシー	7.0%	80.2%	2.1%	10.6%	0.0%	100.0%
ない	3.6%	79.6%	3.1%	12.2%	1.5%	100.0%
その他	2.6%	60.5%	0.0%	28.9%	7.9%	100.0%
不明	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
総計	5.6%	81.1%	3.4%	9.2%	0.7%	100.0%

「インターネットの影響により非行が増える」と答えた高校生では、相対的に、携帯電話というメディアにより家族の会話や交流が減少したと答えた割合が高い。ここからも、メディアと家族との関係を自覚・注意している高校生ほど、非行に対する関心も高いといえる。

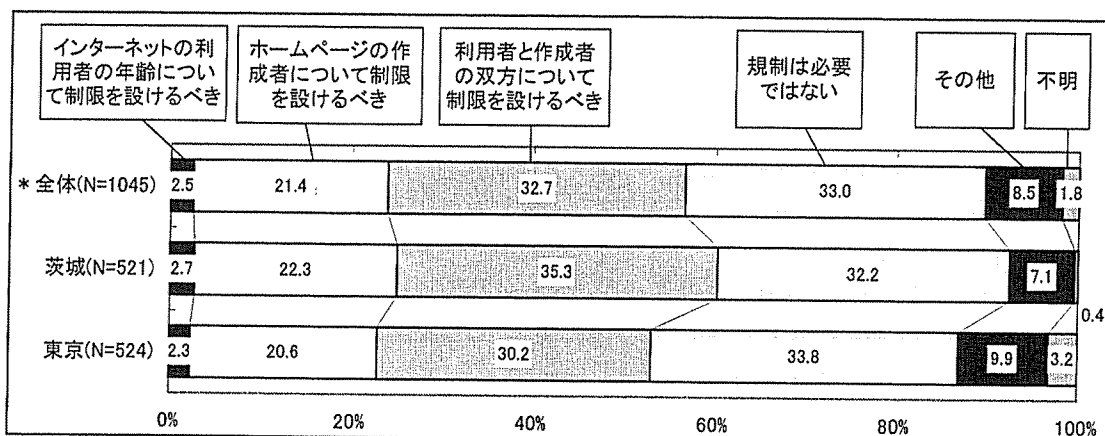
(図表 35) インターネットに対する不安別インターネット規制に対する意識

	利用制限	作成制限	双方制限	不要	その他	不明	総計
格差	3.9%	21.8%	29.7%	34.9%	9.2%	0.4%	100.0%
非行	5.1%	25.3%	40.5%	21.5%	7.6%	0.0%	100.0%
引きこもり	3.7%	23.8%	32.9%	31.1%	6.1%	2.4%	100.0%
プライバシー	1.2%	25.2%	44.4%	21.6%	7.3%	0.3%	100.0%
ない	1.0%	13.8%	15.8%	61.7%	6.6%	1.0%	100.0%
その他	2.6%	13.2%	26.3%	13.2%	36.8%	7.9%	100.0%
不明	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	80.0%	100.0%
総計	2.5%	21.4%	32.7%	33.0%	8.5%	1.8%	100.0%

「パソコンの使える人と使えない人の差が出る」や「引きこもりが増える」と答えた高校生では、相対的に、インターネット規制に消極的であり、「インターネットの影響により非行が増える」や「プライバシーが侵害される」と答えた高校生では、相対的に、インターネット規制に積極的である。つまり、インターネットがらみの犯罪を不安に思うほど、その規制を支持しやすいといえる。

⑥インターネット規制に対する意識

(図表 36) インターネット規制に対する意識



高校生の三人に一人は、インターネットに対する制限は不要だと考えていることが分かった。しかし、利用者と作成者の双方について制限を設けるべきと考えている人も同程度いる。また、利用者に対する制限か作成者に対する制限かという場合には、作成者の制限を支持する高校生が多かった。

(図表 37) インターネット規制に対する意識別携帯電話を利用した犯罪の回避策

	不特定電話	番号通知	ネット発信	その他	ない	不保持	不明	総計
利用制限	11.5%	15.4%	34.6%	11.5%	19.2%	7.7%	0.0%	100.0%
作成制限	14.3%	14.7%	26.8%	11.6%	24.6%	8.0%	0.0%	100.0%
双方制限	9.6%	18.1%	31.9%	7.3%	22.2%	10.8%	0.0%	100.0%
不要	9.0%	14.8%	27.5%	8.4%	31.3%	9.0%	0.0%	100.0%
その他	7.9%	18.0%	23.6%	21.3%	18.0%	10.1%	1.1%	100.0%
不明	5.3%	10.5%	10.5%	21.1%	36.8%	10.5%	5.3%	100.0%
総計	10.2%	16.1%	28.3%	10.1%	25.6%	9.5%	0.2%	100.0%

インターネットには「規制は必要ではない」と答えた高校生で、相対的に携帯電話については、「特に注意していることはない」と答えた割合が高かった。したがって、非干渉をよしとする高校生については、概して犯罪回避に関心が低いといえる。一方、「利用者と作成者の双方について制限を設けるべき」と答えた高校生では、「むやみに自分の電話番号を教えない」や「むやみに個人情報（住所や電話番号など）をインターネットに発信しない」と答えた割合が高く、非干渉をよしとする高校生とは対照的に、このグループは、犯罪回避に関心が高いといえる。

(図表 38) インターネット規制に対する意識別高校生同士での逸脱行為の防止

	注意	示唆	祈願	放置	先生 伝達	親伝達	無関心	不明	統計
利用制限	50.0%	30.8%	0.0%	11.5%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	100%
作成制限	36.6%	31.3%	8.9%	19.2%	0.4%	0.0%	3.6%	0.0%	100%
双方制限	41.5%	28.4%	10.8%	12.3%	0.0%	0.3%	6.1%	0.6%	100%
不要	35.1%	18.3%	8.7%	27.0%	0.6%	0.3%	9.9%	0.3%	100%
その他	43.8%	21.3%	12.4%	16.9%	0.0%	0.0%	3.4%	2.2%	100%
不明	47.4%	15.8%	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%	100%
総計	38.9%	24.9%	9.6%	18.9%	0.4%	0.2%	6.5%	0.7%	100%

「規制は必要ではない」と答えた高校生で、相対的に、万引きをしている友達を「やめる、やめないは本人の自由なので、放っておく」と答えた割合が高い。したがって、このグループには、非干渉をよしとする高校生が多いことがうかがえる。

(図表 39) インターネット規制に対する意識別親に対する強制度

	強制が全	強制が多	強制が少	自由が全	不明	統計
利用制限	19.2%	23.1%	50.0%	7.7%	0.0%	100%
作成制限	6.3%	32.6%	51.8%	9.4%	0.0%	100%
双方制限	6.7%	35.4%	51.2%	6.4%	0.3%	100%
不要	9.9%	35.4%	45.2%	9.3%	0.3%	100%
その他	6.7%	34.8%	44.9%	13.5%	0.0%	100%
不明	5.3%	26.3%	57.9%	10.5%	0.0%	100%
総計	7.9%	34.3%	48.9%	8.7%	0.2%	100%

「規制は必要ではない」と答えた高校生で、相対的に、親から「だいたいはやりたいようにさせてくれたが、無理やり言うことを聞かされたこともあった」と答えた割合が高かった。したがって、非干渉をよしとする高校生については、その親も非干渉をよしとしてきたことがうかがえる。